

あさかのなりたち

朝霞の名の由来

昭和5年、東京府世田谷区駒沢にあった「東京ゴルフ倶楽部」のゴルフ場が膝折村に移転することになりました。このことがきっかけとなり、村名を改称し、同時に町制を施行しようという機運が高まり、移転と時を同じくした昭和7年5月1日に朝霞町が誕生しました。改称にあたっては、当時、東京ゴルフクラブの名誉会長であった朝香宮殿下の名をいただき、「朝霞」とすることになりました。

市では、東京ゴルフ倶楽部から発せられた町名改称許可書を市の文化財に指定し、大切に保管しています。



市制施行時の朝霞駅前

市制施行までの沿革	
明治 2 年	市域は品川県に属する
明治 4 年	品川県が廃止され、入間県に属する
明治 6 年	入間県は群馬県と統合され熊谷県となる
明治 9 年	熊谷県が廃止され、埼玉県に統合される(現在の埼玉県と同じ区域となる)
明治12年	埼玉県に15の郡が編成され、市域は「新座郡」に属し、浦和町に群役所が置かれる
明治17年	市内の各村は、浜崎村連合と膝折村連合に統合される
明治22年	膝折村と内間木村が発足する
明治24年	新座郡は北足立郡に合併される
昭和 7 年	膝折村は町制施行により「朝霞町」となる
昭和19年	内間木村は、志木町・宗岡村(志木市)・水谷村(富士見市)と合併し、「志紀町」となる。また、重瀬地区は美笹村(戸田市)に編入される
昭和23年	志紀町は合併前の町村に分かれる
昭和30年	朝霞町と内間木村が合併する
昭和42年	市制施行(3月15日)



朝霞市役所



市役所から朝霞駅方面



朝霞駅



朝霞台駅・北朝霞駅

あさかの歴史

昭和42年 1967年
人口:55,369人
世帯:18,821世帯
(昭和42年1月1日現在)



平成8年 1996年
人口:110,100人
世帯:45,320世帯
(平成8年1月1日現在)



朝霞市民まつり「彩夏祭」



図書館本館



わくわくどーむ



市内循環バス「わくわく号」



朝霞水門

朝霞市のあゆみ	
昭和42年	3月 市制施行「朝霞市」誕生(県下27番目) 4月 朝霞市消防本部、消防署発足 10月 埼玉国体ライフル競技を朝霞射撃場で開催
昭和43年	4月 第2協働調理場(旧幸町共同調理場)完成、中学校にも給食開始
昭和44年	3月 朝霞市歌・朝霞音頭の発表会開催
昭和46年	6月 泉水浄水場一部完成、送水開始
昭和48年	4月 国鉄(現JR)武蔵野線開通・北朝霞駅開設
昭和49年	8月 東武東上線朝霞台駅開設 12月 緑ヶ丘通線(東円寺交差点～花の木交差点)開通
昭和50年	7月 北朝霞土地区画整理事業完了
昭和51年	5月 武道館開館 9月 市民会館開館
昭和53年	10月 市民憲章および市の木「けやき」、市の花「つつじ」制定
昭和54年	4月 保健センター開所
昭和56年	3月 朝霞陸橋開通
昭和57年	6月 総合体育館、中央公園完成
昭和58年	8月 内間木バイパス開通 9月 本町隧道開通
昭和59年	6月 中央公民館・コミュニティセンター開館 7月 第1回朝霞市民まつり開催
昭和61年	6月 特別養護老人ホーム「朝光苑」開所
昭和62年	8月 東武東上線・地下鉄有楽町線相互乗り入れ開始 10月 朝霞市立図書館開館
昭和63年	4月 ごみ処理施設完成 7月 溝沼子どもプール開所
平成 元年	12月 平和都市を宣言
平成 2 年	4月 朝霞台出張所開設
平成 6 年	3月 人権尊重都市を宣言 7月 健康増進センター「わくわくどーむ」開所 市内循環バスの運行開始 11月 消防新庁舎が完成
平成 7 年	6月 朝霞水門が完成